関係団体	本取組についてのご意見・ご感想をお聞かせください　（抜粋）
小学校	先生方に読み聞かせをさせてほしいとお願いをしていましたが、毎年、時間があるクラスだけになっていたので、初めての試みとして、全学年のタブレットのロイロノートで読み聞かせの動画を観てもらいました。
	今年度も図書委員会で環境に関する絵本の読み聞かせ動画を作成し、全校に配信することができた。
	児童（図書委員）から児童への読み聞かせが効果的だった。読んだ後にクイズを出すことで興味を持って聞くことが出来ていた。
	毎年の取組の中で「昨年はこんな本を読んでもらった。」と、子ども達も覚えており、手応えを感じました。そのようなことからも、環境問題のいろいろな側面を私たちが日頃から情報収集し、選書して、子ども達の心にひびくような読み聞かせにしなくてはと感じています。
中学校	給食の時間に校内放送で朗読。もっと練習が必要な回もあったが、中学生による全校への読み聞かせは図書館に来ない生徒にも聞く機会を持ててよかった。昼休みに感想が伝わってきた。読み終わった本を図書館に展示したところ手に取って見ていく生徒が多数いた。
	図書係（生徒）が環境についての本を読み、読んだ本の内容を分かりやすく伝えるようにＰＯＰを作成する取組を図書館支援員の先生を中心に行った。係の生徒にも図書館を利用する生徒にも、環境について考える良い機会となった。
公立幼稚園	園にいる身近な虫の絵本を読むことで、子ども達が自分たちで虫がいそうな場所を考えて探そうとする姿が見られた。捕まえた後も、「落ち葉を入れてあげたらいいよ」「たくさんだから逃がしたらいいんじゃない？」などと生き物の生命を大切に考えて行動しようとする姿が見られるようになった。
	もったいないシリーズを読むことで、歯磨きやうがいの際、水道の水が出たままになっている時「もったいない！」と言って蛇口をしめたり、友だちと声を掛け合ったりする姿が見られるようになった。
	毎日の活動の中で絵本や紙芝居を読む機会は多いが、子ども達の遊びや興味にちなんだものを選びがちになる。環境月間があることで環境を意識した内容の絵本を手にする機会になった。また、子ども達と生活に身近なものを大切に使うことや自然を汚さないことなど話す良い機会になった。
公立保育所	環境についての絵本を部屋に置いておくと子ども達が興味を持って自分で手にとって読んだり、「読んで」と持ってくることで保育士も意識を持つことができた。 絵本を見ながら「家でも〇〇している」「ぼくも今度から〇〇してみる」と子ども達同士で話をする姿が見られた。
	環境についての話を子ども達に話だけで伝えるのではなく、イラストを見せながら知らせていくことで、子ども達も自然と身についていくものだと感じました。楽しみながら、環境についてや様々な物事に気づいていけるように、絵本を子ども達に読んであげることはとても大切であると今回感じました。今後もたくさんの絵本を読んでいきながら、子ども達にたくさんのことを伝えていきたいと思います。
	環境問題について子ども達と考えるきっかけとなった。絵本を見終わってからは、ペーパータオルの取り方が変わったり、お絵描きの紙を大事に使おうとする子どもがいたり、子ども達の中にも、環境について意識している様子が伺えた。今回、良い機会となったので、これからも環境に関しての絵本も日頃の読み聞かせの絵本の中に取り入れていきたいと感じた。

関係団体	本取組についてのご意見・ご感想をお聞かせください　（抜粋）
私立幼稚園	本園は、絵本、紙芝居の読み聞かせを大切に考え、園児の心に響く質の高い絵本、紙芝居の選定を行っています。今年度の環境月間中は、特に環境自然に関するコーナーを工夫し設置をし、絵本の貸し出しや読み聞かせをいたしました。園児が大変喜んでくれましたので、今年度も有意義な取組が出来たと思っています。マンネリ化を防ぐためにもいい取組だと思います。
認可保育園等	自然災害について、紙芝居で分かりやすく伝えていくことで身近なところにある災害の怖さや対応を知っていけるようにしていく。 絵本を見ながら「ゴミが海の中にある」など、自分から気づく姿があった。 読み聞かせの後から家庭でも「もったいないよ」「なにかに使えるかも」という姿あることを保護者の方から聞くことが増えた。 活動に使った廃材なども「まだ使えるか」など、みんなで話をしていきたい。
	「環境」についての絵本を子ども達への読み聞かせに取り入れてみようと園全体で取り組んだことで保育士自身も環境について考えるきっかけとなった。 また、絵本を選書する視点も様々な環境について考えながらもつことができた。 子ども達も普段触れている自然や昆虫等の生き物、雨など天気を感じるきっかけになり、自分の経験や絵本の世界に入って楽しむ姿が見られた。雨の日が多かったが雨を楽しんでいた。
地区公民館	例年6月に「環境関連図書コーナー」を設置し、来館者に呼び掛けている。また、公民館主催事業及び市民センター内併設のこどもルームの先生に協力してもらい「読み聞かせ」を実施している。例年6月なので、雨、ダンゴムシなど、季節にあった環境の本が充実していっているが、他の季節の環境本も充実すると年間を通じて読み聞かせに活用できるのではと思う。
こどもルーム	部屋の片付けを全員でし、閉所前に必ず１冊読み聞かせをすることで、スムーズに帰ることもできるし、座って聞く習慣ができ、保護者も子どもが本に興味を持つようになったと喜んでくれている。
	図書コーナーに常設しているので、親子で手に取って、日ごろから見てくれる姿がある。環境月間があることで、職員も意識して、本を選んだり、紹介することができるし、紹介されると、興味を持ってくれ、本棚から紹介された本を選んで、読んでくれたりする姿が多く見られた。
読み聞かせボランティア	読み聞かせ対象者実施者共にみんなで限りある物の大切さ、自然環境の大事さを再認識するきっかけとなり、有意義な運動だと思います。
市民図書館	環境に関する展示企画や環境絵本の読み聞かせを月間を通して実施しました。 子ども達に環境について考え知ってもらう良い機会だと思います。